

2025 年 12 月 18 日

各 位

大阪市立北稜中学校
P T A 会 長
PTA 人権啓発活動委員会
委 員 長

玉木幸則さん人権教育講演会 開催お礼とアンケート結果のご報告

師走の候、皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校の教育活動ならびに PTA 活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

去る 12 月 4 日（木）、本校多目的室において、PTA 人権教育講演会「誰ひとり取り残されないまちづくり ～フルインクルージョンをめざして～」を開催いたしました。当日は、NHK E テレ「バリバラ」などでご活躍の玉木幸則さんを講師にお迎えし、保護者・地域の皆さま、教職員あわせて約 60 名のご参加をいただきました。お忙しい中、平日の夜にもかかわらずご参加いただき、心よりお礼申し上げます。

講演では、玉木さんのユーモアあふれる語りを通して、

「生きづらさを生み出しているのは誰なのか」

「私たちが『当たり前』だと思っている価値観が、誰かを傷つけていないか」

といった問いが投げかけられました。笑いに包まれながらも、一人ひとりの心の中にある「見えないバリア」について、あらためて考えさせられる時間となりました。

講演後に実施した WEB アンケートでは、多くの方から前向きな感想やご意見をお寄せいただきました。

「『生きていくだけでえらい』という言葉が心に残った」「子どもへの声かけや接し方を見直したい」など、保護者として・地域の大人として、自分自身の在り方を振り返る機会になったという声が数多く寄せられています。

今回の学びを、今後の PTA 人権啓発活動はもちろん、家庭や地域での子どもたちとのかかわりにも生かしていきたいと考えております。今後とも、北稜中学校 PTA の人権にかかわる取り組みに、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ アンケート結果 （回答数（n）：36）

Q1. 本日の講演全体のご満足度を教えてください。

選択肢	件数	割合(%)
とてもよかった	28	77.8
よかった	7	19.4
どちらでもない	1	2.8
あまりよくなかった	0	0
よくなかった	0	0

Q2. 「フルインクルージョン」や「誰ひとり取り残さない」という考え方について、理解は深まりましたか。

選択肢	件数	割合(%)
大変深まった	25	69.4
ある程度深まった	8	22.2
少しだけ深まった	3	8.3
あまり深まらなかった	0	0
まったく深まらなかった	0	0

Q3. 今日のお話を、ご家庭・学校・地域でのかかわりに生かしてみようと思いましたか。

選択肢	件数	割合(%)
ぜひ生かしてみたい	21	58.3
できる範囲で生かしたい	15	41.7
まだよく分からない	0	0
あまりそうは思わない	0	0
まったくそうは思わない	0	0

Q4. 今後も、このような人権講演会があれば参加したいと思いますか。

選択肢	件数	割合(%)
ぜひ参加したい	21	58.3
内容によっては参加したい	14	38.9
どちらともいえない	1	2.8
あまり参加したくない	0	0
参加したくない	0	0

Q5. 玉木さんへの一言ご感想

- さすがテレビのタレントとしても長年活躍されてただけあって、笑いもたくさん交えた内容の濃いお話で、あっという間に1時間半が過ぎました。フルインクルージョンは難しく聞こえますが、「周りの人の意識が変わるだけで半分は達成できる」とのお話に、なるほどと思いました。合理的配慮の課題を行政・企業・学校がどう段階的に解決していくかが今後のポイントだと思います。息子さんが学校で障害者問題の学習をして家に帰り、お父さんを見て考え込んでいたエピソードも印象的でした。このような企画をやり遂げた PTA と学校のみなさんにも敬意を表します。他校にもぜひ広がってほしい取り組みだと思います。
- 障害とは何か。当事者に「障害がある」のではなく、当事者が生きづらさを感じることで障害なのだというお話は、自分の息子に発達特性があるので、とても腑に落ちました。
- 本日はありがとうございました。「のじぎく学園」の名前が出てからは実家が近所の私として勝手に親近感を抱きながら聞かせていただきました。生活するうえでニーズが必要な方も無い方も、国籍も何も壁をなくして協働できる世の中に、今すぐは無理でも、子どもたちが大人になるまでには親世代がしっかり土台を作ってつないでいけたらと思いました。

- 本日は貴重なお話をありがとうございました。自分は大丈夫で、困っている人は助けたいとしか思っていませんでしたが、自分も周りについていけなくなり取り残されたと感じる日が来るかもしれないと思いました。また、「助けたい」と思っていることが差別になっている場合もあり、本当は困っていない人もいることに気づき、そもそもの考え方が間違っていたと感じました。子どもを育てる一人の親として、これからのかかわり方を見直したいと思います。
- 軽快な語り口とユーモアあふれる発言が矢のように飛んでくる一方で、その合間に、弱い立場の人を切り捨てる優生思想が今も社会に根づいていることへの強いアンチテーゼが爆弾のように投げ込まれるトークでした。帰宅してから寝る前になっても、お話が何度も頭の中によみがえってきます。玉木さんの話は、音楽であり、パンクでした。
- 私の父も聴覚障害者で、私自身も「親が障害者」ということでいじめられていて嫌な時期がありましたが、今は全然平気です。玉木さんと共に前向きに生きていきたいと思います。
- お忙しい中、貴重な講演会を北稜中学校でしていただきありがとうございました。排除されることは障害のある方の目線からは非常に苦痛だと思います。中学生の子どもたちは排除されている人がいることに気づかず生活しており、そのため地下鉄での出来事のようなことが起きてしまうのだと思います。知らないから怖いと思う子、分からないから知らないふりをする子、どう接したらよいか分からない子など様々ですが、お話が子どもたちの胸に届けば、そのような行動は取れないと思います。北稜の子どもたち全員にも聞いてほしかったです。また機会があれば、ぜひ子どもたちに直接お話ししたいです。
- あっという間の講演の時間でした。身近なことから取り組んでみたいと思いました。ありがとうございます。
- ご講演ありがとうございました。「障害があるから生きづらい・大変」という考え方が、私たち自身の暮らしを生きづらくし、障害のある人の自立心や能力を一方的に軽視し、自尊心を傷つけているのだと考えさせられました。
- 様々なことに対して様々な視点で想像し、対話することで、少しずつ解決していくことがあるのかなと思いました。
- とても興味深い内容をお話しいただきありがとうございました。マイノリティとは単なるグループ分けでしかないこと、幸せの感じ方、日本の障害者教育の時代遅れ感など、ハッとすることばかりで、あっという間の90分でした。「それぞれができることをする」という考え方を子どもたちにも伝えられたらと思います。
- 独特の視点での斬り込み方がとても勉強になりました。いつか呑みながらお話ししたいです。ありがとうございました。
- 「マイノリティとは分類の仕方ewith変わる」というお話がとても印象的でした。ありがとうございました。
- 講演会ありがとうございました。すごく心に響くものがあり、たくさん考えさせられ、あっという間に時間が過ぎました。みんなで助け合って暮らしやすい環境になればと思います。また機会がありましたら、ぜひお話を聞きたいです。
- ユーモアを交えたお話でとても楽しかったです。考えるきっかけをいただきありがとうございました。
- これまであまり触れてこなかった分野でしたので、知見・見解を広げる意味で大変勉強になりました。今後は公私の生活において可能な範囲で取り組んでいきたいです。
- とても楽しみにしていましたが、期待に違わぬお話で、あっという間の90分でした。ありがとうございます。今回のお話の内容を生徒たちにも紹介し、考えてもらう時間を取る予定です。

- ご講演での貴重なお話ありがとうございました。以前に比べマイノリティへの理解は進んでいるように感じる一方で、社会への不安や閉塞感、平和への揺らぎ、経済的負担の増加などから、生きづらさを抱える人が増えているようにも感じます。そんな時こそ、軽妙でユーモアにあふれながらも真を射抜くコメントを拝聴するたびに、「人として忘れてはいけないこと」を思い出させていただいています。私は日福二部の卒業生で、「生まれてきてよかった」はバイブルです。これからの時代、ますます玉木さんの存在が必要になると思います。どうかお身体に気をつけて活動を続けてください。
- 私も身内に知的障害がある者がおりました。その環境が当たり前だったため、これまであまり考えてこなかった内容と、世間の大多数から見たときのズレを、お話から感じることができました。積極的にボランティアなどに関わらなくとも、共に生きる社会に暮らす一人の人間として、困っている人には手を差し伸べられるような人間でありたいと思います。
- 障害のお子さんを持つ親御さんにも今回の講演を案内しました。「バリバラもよく見ていたしぜひ参加したい」と言っておられましたが、預ける人がいなかったり、子どもさんが静かに講演を聞けないからという理由で参加できませんでした。小さい子がいると講演に参加するのは難しいことも多く、「取り残されない環境づくり」は様々な場面に必要だと改めて感じました。それでも、子どもたちは学校や休日にも障害のある子たちと遊ぶ機会が多く、自然に車いすを押したり、手をつないでサポートしたり、見守ったりしながら一緒に成長していることを感じます。すべてを理解し対応することは難しいですが、様々な視点で感じられるようになるよい機会になったと思います。
- 色々な気づきがあり、とても勉強になりました。今後いかしていけたらと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- いろんなことを考えさせられました。ぜひ、子ども向けにもしてほしい内容だと感じました。
- 大変お忙しい中、北稜中学校で講演していただきありがとうございました。数年前にも講演を聴いたことがあり、そのとき私は特別支援学級担当として原学級で学ぶことを推進していました。その子どもたちが今年成人式を迎えます。成人式会場には本人以外入れず、付き添いが必要な場合でも基本的に本人しか入れないというシステムに疑問を感じています。社会はまだまだ変わらなければならないと、今回の講演と重ね合わせながら聴きました。自分もその社会の一員であると自覚し、学校でできること、子どもたちに伝えられることを日々取り組んでいきたいと思えます。
- 「平等な選択肢を」という言葉にハッとしました。玉木さんの活動は今の社会に本当に必要な活動だと思いますので、ぜひお身体に気をつけながら活動を続けてください。応援しています。
- 「とても素敵な時間をありがとうございました。」

➡ 上記のような、一言のお礼・感謝のメッセージ 5件

Q6. 今後取り上げてほしいテーマ

- ・ 「人権」全般 ・ 地域活動と人権・まちづくり ・ 性教育 ・ 中学生とインターネットとの向き合い方（誤情報・詐欺被害などを含む） ・ お金の教育（家計・投資など）
- ・ 親子の向き合い方・子どもとの関わり方 ・ 差別を受ける当事者本人の話を直接聞くような講演（当事者の語りの継続的な機会） ・ 「人間力」の築き方 ・ フェアトレード ・ 国際情勢と人権の問題（例：中国人の同級生と報道の関係、偏見を生まない指導 など） ・ 淀川・大川の河川の歴史、環境問題と人権（天神祭、大川沿いの行事などと絡めた学び）